2016 年 12 月 26 日

# ◇視聴報告まとめ＜2016 年 12 月 26 日号＞◇

ＮＨＫニュースウォッチ９

**○真珠湾　慰霊へ**

ハワイ・真珠湾から河野憲二キャスターが中継。
当時の記録映像を交えアリゾナ記念館を紹介。
明日安倍総理が訪れることについて、記念館を訪れた人からは
「適切だと思う。遅すぎるくらいだ」「真珠湾攻撃について謝罪すべき」「過去を思い起こすことはすべての人にとって重要」
この後９時間後に安倍総理とオバマ大統領が訪問する。これに先立ち国立太平洋記念墓地などを訪問するなどの動向を紹介。地元の人の声を二人取り上げたがいずれも好意的。地元紙は１面で取り上げ「道義的にも戦略的にも決定的瞬間になるだろう」と報じた。
現地で、原記者（政治部キャップ）解説。『強固な同盟関係と和解の意義を世界と双方国民にアピールする。不戦の誓いと和解がキーワード。多数の民間人を犠牲にした広島への原爆投下と、軍事基地を狙った真珠湾攻撃を同列に扱うことへの批判もあるが、首相としてはそうした歴史認識とは一線を画して未来志向のメッセージを出したい考え。安倍首相は就任以来「積極的平和主義」掲げオバマ大統領と緊密に連携、オバマ大統領も尖閣諸島が日米安保の適用対象だと大統領として初めて明言した。新政権の元でも強固な同盟に結び付けたい考え』

**○“憎しみはない”元米軍兵の願い**

真珠湾攻撃を体験した元米兵を２名紹介。取材に答えたロドリゲス氏は「私に「（日本への憎しみは）私にはない」「当時は日本を良く思っていなかったが、何ができる？自分ではどうにもできない。起きてしまったことは起きてしまったことだ」「（安倍総理が）平和のために来てくれて嬉しい」などと語った。
現地で、ロサンゼルス支局長の神津記者「現地の元軍人は概ね好意的に受け止めているが、中には首相が訪問するなら謝罪が必要だという人もいた。負の歴史として記憶されているのも事実だが、過去を乗り越えて未来のために自分たちの経験を若い世代に伝えたいという人々の声が印象的だった。彼らの思いを後世に残していかなければならないと改めて感

じた。」
河野キャスター「強い同盟関係を築いた日米だが両国の心のわだかまりとなっていたのが原爆投下と真珠湾攻撃。いわば“最後の棘”を抜く訪問となるのか、安倍総理とオバマ大統領が語る所感に注目したい」

**〇東芝また巨額損失**

**〇三浦棋士が会見　調査委の結果受け「元の状態に戻して」**

将棋連盟が謝罪したが竜王戦のやり直しはしないとした。将棋ソフトの飛躍的進歩が背景にある。

**〇沖縄防衛局　辺野古移設工事再開　沖縄県と国の対立さらに激化へ**

キャンプシュワブのゲート前ではおよそ６０名が抗議の声を上げる。
「悔しいです。なぜ僕たちの声をこんなに聞いてくれないのか」
自分のこととして政府の方たちは捉えてないんだろうなと。地元の人たちがどれほど苦しんでいるかをわかってくれていない」
那覇市でも反対の声
「信じられない。はっきり言って沖縄をバカにしていると思います。日本全国民で沖縄の基地問題を考えて欲しい」
沖縄防衛局は年明けから工事を本格化させる。
菅官房長官「辺野古への移設は唯一の解決策。今回の確定判決と和解の趣旨に従って埋め立てを進めていく」
翁長知事「沖縄県民の怒りと悲しみはすごいものがある。そう簡単に物事は進みませんよと申し上げたい。絶対に新辺野古基地は作らせないという気持ちで頑張りたい」
翁長知事は「知事が持つあらゆる権限を使って移設阻止を目指す」考えで、県と国の対立はさらに激しさを増すことになる。

**〇フジテレビ元記者に懲戒処分　休職１ヶ月**
**〇民進党　山尾志桜里全政調会長の元秘書　ガソリン代不正請求認める**
**〇脱北の元駐英公使が会見「体制崩壊させるしかない」／他**
---

2016 年 12 月 26 日

**所感**

・安倍総理の真珠湾訪問直前の現地取材は現地の様子をよく伝える内容だった。日米双方の批判的な意見にも言及しながら安倍総理側が考える今回の訪問の意義も適切に解説していたと思う。
・辺野古の埋め立て工事再開のニュースでは抗議デモ参加者 2 名、那覇市内で街の声 1 名がいずれも反対意見。この件は国民の間で「意見が分かれる問題」と言えるので、少数であっても容認派の意見も伝えるべきではないか。

放送法遵守を求める視聴者の会